

未来社会に向けた先進的原子力教育コンソーシアム

## 実験・実習グループ会議

近畿大学原子力研究所

若林源一郎

# 実験・実習プログラム

実習	担当	実習	担当
原子炉実習(基礎・中級・上級)	近畿大 京都大	中性子輸送挙動計測実習	東北大
廃棄物計測・信頼性工学実習	東京都市大	放射線応用実習	東北大
発電炉シミュレータ実習	東海大	原子炉材料照射実習	東北大
高専生のための原子炉実習	高専機構 近畿大 東海大	廃止措置技術セミナー	福井大 JAEA
高専・長岡技科大演習プログラム (8課題)	高専機構 長岡技科大	アイソトープ実習	福井工業大
電力会社での実習	高専機構	ナトリウムと材料の濡れ性に関する実習	JAEA
元素分析・中性子放射化分析実験	北海道大	非破壊検査技術に関する実習	JAEA
放射化学実験	静岡大	レーザー溶断メカニズムに関する実習	JAEA
核データ工学実験	JAEA	原子力プラント体感実習研修	日本原電
JAEA幌延深地層研究センター見学・実験	北海道大 JAEA	原子力施設インターンシップ研修	関西電力
日本原燃再処理工場及び低レベル放射性廃棄物埋設センターにおける実習	北海道大		

# 実験・実習グループ会議

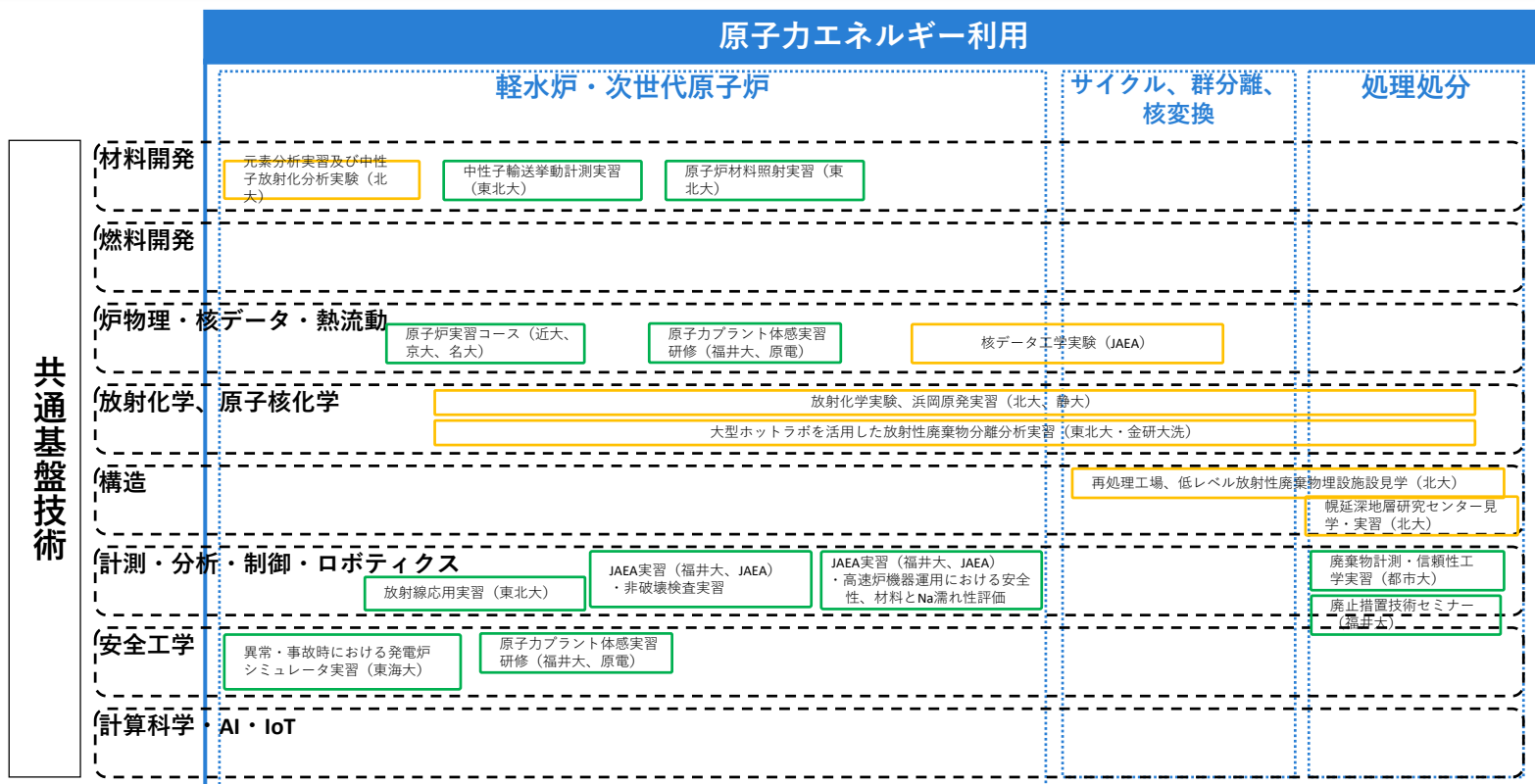
## (令和3年度の活動)

- コンソーシアムで実施される実験・実習を確認し、日程、募集方法等について情報を整理・共有。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで実施したもの、延期されたものもあるが、予定していた実習はほぼ実施。

## (評価と課題)

- オンライン実習は対面実習の代替にはならないが、オンライン実習のメリット(旅費不要、参加人数・対象の拡大が容易、施設の物理的・法的制限のクリア)もある。必要に応じてオンライン開催のノウハウを活かしていきたい。
- 同じ時期に実習開催が集中しないようスケジュールを全体として調整することも課題であるが、実施大学のカリキュラムに組み込まれていて時期が固定されていたり、受け入れ先機関・企業の都合もあり、調整は難しそうである。
- 実習プログラムには、施設見学等、ある程度単独で完結しているプログラムと、講義(座学)で得た知識を実践し血肉化する場としてのプログラムがある。後者については、体系化してカリキュラムの中に位置づけていく必要がある。
- 事前学習をさせる仕組み、実習プログラムの単位化について現状の調査と検討が必要。
- 現状で不足する実習プログラムを追加して、必要な分野をカバーしていく必要がある。

# 人材イニシの取組のマッピング



○放射線影響

- 放射化学実験 (静大)
- アイソトープ実習 (福井大、福井工大)
- 放射線応用実習 (東北大)
- 裾野拡大のための取り組み (高専、長岡技科大)
- ・ポケット線量計測定、NaI(Tl)サーベイメータ測定、小中校向けセミナー

○プラント管理

- 浜岡原発実習 (北大、静大)
- 電力会社等での実習 (高専)
- 原子力施設インターンシップ研修 (福井大、福井工大、関電)